

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

総務課（内線：0857-26-8160）

15目 公文書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新鳥取県史編さん事業	25,614	16,368	9,246			<財産収入> 1,316 <諸収入> 39	24,259	
トータルコスト	76,981千円（前年度55,950千円）							
従事する職員数	正職員：6.2人、非常勤職員：3.7人							
主な業務内容	歴史・民俗資料の調査研究、史料解説、編さん委員会・専門部会の開催、県史小冊子の執筆・刊行、シンポジウム等普及事業の実施等							
<p>説明</p> <p>1 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的 鳥取県が歩んできた歴史を明らかにし、郷土に対する県民の理解と愛着を深めるとともに、貴重な歴史的資料を県民共有の財産として後世に伝え、さらには歴史に関わる人材を育成することにより地域文化に活力を与える。 概要 旧「鳥取県史」後の発見や研究の進展のあった事項、また、旧県史で十分取り上げられなかった事項の調査研究等。 <p>2 主な事業内容</p> <p>○資料調査等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 原始古代部会－室専門員1名、非常勤2名（出土物整理担当）の配置（新） 県内主要遺跡の出土物（土器片・金属器等）の実測図・トレース図の作成 古郡家1号墳（県東部最大の前方後円墳）の墳丘測量（新） 中世部会－既刊資料集からの県関係資料の抽出（新）、県外所在史料調査等 近世部会－主要文書現地調査（中部地区）、史料解説（家老日記等）等 近代部会－「資料編」第1巻として「鳥取県歴史」（明治初期に県が国へ提出した行政資料）の翻刻・刊行（新）、廃棄のおそれ大きい民間資料の所在調査等 現代部会－手記編の編さん・刊行、聞き取り調査、戦前期文献資料調査等 民俗部会－地域民俗調査（中部山間部）、民具調査、テーマ別（両墓制等）調査等 <p>○鳥取県史ブックレットの刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の歴史小冊子の刊行（2冊） （仮テーマ）「鳥取県と満蒙開拓」（現代部会）、「鳥取県の民俗と子ども」（民俗部会） <p>○普及事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県史シンポジウムの開催（8月頃、東部地区を予定） （仮テーマ）「近代の日本と鳥取」 県史編さん協力員（ボランティア）の運営 								